

様式第2号（第10条関係）

会議結果のお知らせ

1. 開催した会議の名称 平成24年度第1回鶴見地域審議会
2. 開催日時 平成24年6月5日（火曜日）午後3時00分～午後4時55分
3. 開催場所 鶴見振興局3階大会議室
4. 出席者  
(地域審議会委員)  
会長 吉岡政己 副会長 阿部愛子  
委員 多田 茂 委員 成松 稔 委員 安達一男 委員 塩月和子  
委員 染矢正直 委員 塩月 寛 委員 浜田 勇 委員 桑原瑞世  
委員 大西 栄 委員 肥後昭子 委員 神崎明昌 委員 古川 積  
委員 広津留由紀子  
(鶴見振興局)  
局長 清家文明 課長 浜崎 豊文 課長補佐 大津加 堅重
5. 公開、非公開の別 一部公開
6. 傍聴人数 0 人
7. 議題
  - 1) 鶴見地域審議委員の任命について
  - 2) 鶴見地域審議会会長の選任について
  - 3) 地域活性化チャレンジ事業の採択について
  - 4) その他
8. 審議の内容
  - 1) 兼田浩会長の辞任により、塩月寛氏を任命、任期は平成25年8月31日まで。
  - 2) 新たな会長に、吉岡政己氏を選出した。
  - 3) 地域活性化チャレンジ事業公開プレゼンテーション  
3団体の事業説明10分間、質疑応答5分間を行い、委員が地域性、広域性、実現性  
発展性、創造性の5項目の評価項目のそれぞれについて基準点を3点として評点1点か  
ら5点の範囲内で採点を行った。  
審査については、各審査員の採点結果の平均点で審査を行った。

○プレゼンテーション抄録

以下は、プレゼンテーションの質疑応答の抄録であり、実際の発言と言い回しが異なる部分がありますので、ご了承下さい。

1 ふれあいファミリー農園

(地松浦自治委員会事業部：説明者1名)

**委員：** 昨年の経費は、どれくらいかかっているか。15万円でもいいのですか。金額を増やした方がいいのでは。

**説明者：** 希望としては、3万円増やしたい。地区と相談したい。

**会長：** 金額は、決定しないので、再度持ち帰って検討下さい。

**委員：** 7ヶ所作って、会員は31名ということですが、何世帯参加していますか。

**説明者：** 31名ですが、世帯数は今わかりません。私達は、野菜づくりで心が満たされた活動を目指しています。

2 男の港市、横浜鶴見区交流事業

(男の港市：説明者1名)

**委員：** 壮大な事業を計画しているのに、補助金の額が小さい。売り上げはどれ位見ているのか、トラックの輸送だけでも25万円かかる。

**説明者：** 手弁当で今までやってきた。今回もそうなると思います。補助金が50万円、横浜ケーブルTVが15万円負担してくれます。残りは会員が負担します。

**委員：** 毎年やるのですか。

**説明者：** 毎年やります。東京タワーと大阪女子国際マラソンも行きます。

**委員：** 昨年の決算書があればわかりやすい。どこに、どれ位かかったか。

**説明者：** 物も販売するが、赤字になることもあるので、みんなで協力して実施したい。決算書は、出せといわれれば出します。

**委員：** 東京タワーに行ってブリを販売するが、無料配布では無く代金を取ったらどうか。

**説明者：** 東京タワーは第2回から、販売に力をいれて、若干お寿司の無料配布も行ったが、販売でそれも補えた。その後、加工品など引き合いがあって、その売り上げで、つるみ半島の清掃活動に当てている。

**委員：** タダで物をもらえると、たくさん集まるというのが人間の心理ですので、おいしい物が、安く手に入るという宣伝をお願いしたい。

**委員：** 無料配布は魚の価値を落とす。かつて湯布院でアジ、イワシの無料配布をしたら、タダでもらえる感覚を醸成した。

**説明者：** 豊魚祭でも、安く魚を出していて、次の年に値をあげたら買わなくなったというのを聞いている。無料の部分だけではなく、試食程度にやっていく。後は、通信販

売でアンテナショップの基盤づくりを行う。

都会では無料という言葉に、ものすごい人が集まるが、それだけでは意味がない。都会に鶴見が出て行った。都心部から照らす意味合いが大切。販路の追求もやってきて、販路の構築もできつつある。

**委員：**事務局に聞きたい、平成23年12月12日に鶴見自治委員の兼田さん、佐野さん、神崎さん、清家局長の4名が鶴見区に行っていますね。旅費とか協議した内容はどうゆうものか。

**事務局：**自治会の予算で行ってきた。自治会で報告している。東京タワーイベントにあって、次の日に青麦市場商店街の方と懇談、その後、鶴見区の副区長、担当者を訪ねて懇談した。

**委員：**そのなかで、こうゆう話が出てきたのですね。

**事務局：**第1回の東京タワーイベントを1昨年開催した時のキーパソンの方が東京と横浜にいる。その方との人的繋がりで話があった。

**委員：**男の港市は、どこに行っても赤字で対応していると思うが、目玉になる、鶴見の市場にいったら、どこに行っても安くて、いいのがあるよという評判を立てるような対策はしたことがあるか。

**説明者：**毎回しています。ここは、巾着（まき網）の町ですよ、水揚げの風景などを見せたらいいのではと思っていますが、生産者の方が、はかなか仲間に入ってくるのが難しい。

**委員：**しらす丼とか評判ですが。

**説明者：**牡蠣もしらすもどこにでもあるのですよ。ここしか無いというと、まき網船団かなと思います。

**委員：**魚を食べると体にいいとテレビで宣伝しているが、魚価は20年30年前が良い。量は今より、何倍も揚がっていた。魚離れが甚だしい。

**説明者：**ラウンドの1匹で買うと、家庭では困る時代になった。大分の回転寿司は行列ができています。魚離れか、調理ができないのか、わからないが、まだまだ、魚の好きな人も多いので、提供しやすい形で行かないとならない。

肉の味は分かりやすいが、魚の味は認識しにくい面がある。いい魚を持って行くとおいしと言ってくれる人もいます。時代の流れに逆らう事業かも分かりませんが、そうしないとこの町は残らない。

### 3 御開帳 皆手（みて）の灯り

（沖松浦自治会：説明者1名）

**委員：**政教分離の考えかたからどうであるか。支出の部の接待費は、補助対象外では。

**説明者：**本堂で行うのは、宗教行事と思うが。広場で参加される方に配るのが、お接待である。地域の素材を生かした事業と考えていただきたい。

**事務局：**支出の接待費は、無料配布であると考えています。

委員：神社、仏閣という、むつかしい問題がある。御開帳というのを省いてやったらどうか。

会長：タイトルを変えてはどうか。ということですか。

委員：そうです。

説明者：御開帳の十一面観音は佐伯市の指定文化財であり、佐伯市からお参りする方もいるので、そういう方が増えてきたら、文化財の説明者を配置したい。そこには市の指定文化財が2点あります。「皆手の祭り」ということでもいいと考えている。

委員：宗教的なこともあると思うが、子供の頃、沖松浦に住んでいた。御開帳という言葉は沖松浦の方には大切ではと思う。それから、甘酒接待は5日間するのですか。

説明者：夜は3日間します。

説明者：竹は、佐伯市の春祭りの竹をお借りしたい。後は、ローソク等を購入する。

会長：政教分離の話から、ここまでの話になって、良い知恵も出てきました。実施にあたっては、佐伯の事例あると思います。事務局から意見はありますか。

事務局：皆さん幅広い感性をお持ちで、色々な意見を頂きました。意見につきましては、提案者と事務局が検討するという事で、採点に移行することでいかがでしょうか。

会長：おはかりします。事務局の提案でよろしい方は挙手をお願いします。決しました。

#### 4) プレゼン終了後の審査会

3団体のプレゼンが終了した後、審査点の採点結果表をもとに意見交換を行い、事業の採択を行った。

審査結果については、採点結果を重視し、採点の結果、基準点の15点以上の3団体の事業を採択し、市長に答申することにした。

#### 【採択事業】 ※順番は申請順

事業名	事業主体	審査結果
ふれあいファミリー農園	地松浦自治委員会事業部	採択
男の港市、横浜鶴見区交流事業	男の港市	採択
御開帳、皆手の灯り	沖松浦自治会	採択

#### 9 会議の資料名一覧

- (1) 平成24年度佐伯市活性化チャレンジ事業応募事業一覧
- (2) 平成24年度佐伯市活性化チャレンジ事業計画書
- (3) 平成24年度佐伯市活性化チャレンジ事業募集要項
- (4) 平成24年度佐伯市活性化チャレンジ事業補助金交付要綱 説明書
- (5) 佐伯市活性化チャレンジ事業審査会実施要項
- (6) 平成24年度佐伯市活性化チャレンジ事業審査評価シート

(7) 平成24年度佐伯市活性化チャレンジ事業採点結果表(順位)

10 問い合わせ先

担当課 佐伯市鶴見振興局 地域振興課 地域振興係(担当:大津加)  
電話番号 33-1111 内線111